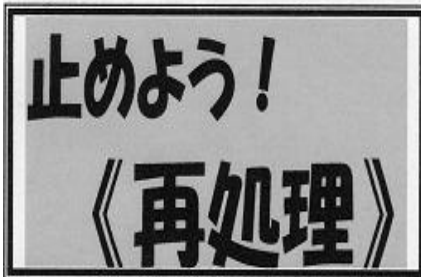
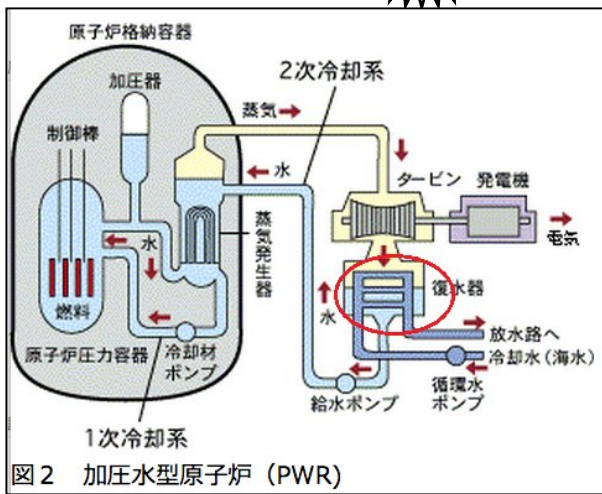


三陸の海を放射能から守る
岩手の会 (略称) **三陸の海・岩手の会**
 郵便振替 02240-5-102650
 ホームページ 《再処理／岩手の環境》
<http://sanriku.my.coocan.jp/>
 《本紙の全バックナンバー掲載》



《**天恵の海**》
 2015(平成27)年
 9月3日 (一部訂正)
 第158号
 編集事務局 S.Oshida
 TEL・FAX 019-623-1636

4年も停止していた老朽原発 川内原発 冷却細管に穴 海水混入



加圧水型炉は、原子炉の熱で、一次冷却水を高温高圧熱水とし、その高熱で2次冷却水を熱し水蒸気を発生させ、タービンを回す。川内1号機の2次水蒸気で回すタービンは4基(高圧1, 低圧3)。報道によると8月20日午後2時19分に、復水ポンプ出口付近で導電率の異常を示す警報が鳴り2次冷却水への海水混入が明らかになった。検査の結果、3系列のうち1系列の復水器の細管5本に損傷が見つかったという。復水器には、1室13000本の細管が、2室に分かれて設置されている。細管を通る海水から2次冷却水へ塩分が混入すると各処に「湯垢」となって詰まり、トラブルを起こす。

各地から 原発再稼働へ 火山噴火の危惧の声

◇「桜島の火山活動は今までにない火山活動。規模の大きな噴火が今すぐ起きてもおかしくない、差し迫った状況だ」 京都大学防災研究所の井口正人教授 (東京新聞)

◇九州電力社長長殿「桜島火山噴火の兆候に伴い、川内原発一号機の停止と使用済み核物質の安全対応を要請する」 市民グループ

放射能から命と国土を守り、平和憲法を守り活かす会

八月二二日の新聞各紙は、十一日に再稼働した川内原発一号機の二次冷却系復水器に海水が混入したというニュースを報じています。九州電力は、原子炉を止めずに、この復水器の該当部分の細管一万三〇〇〇本を検査し、5本の損傷を確認し、栓で塞ぎ対処しました。しかしこれでは、全体を点検できず、作業員の安全確保からも危険です。まず止めて、それから調査すべきです。「川内原発30キロ圏住民ネットワーク」など八市民団体が、原子力規制委員会、九州電力、鹿児島県知事に対して「全面停止・徹底原因究明」を緊急請する署名行動を提起し全国に連帯するよう呼びかけました。「岩手の会」も賛同団体に名を連ねました。

すぐに全面停止させ 徹底的な原因究明を!
市民団体が緊急要請署名行動提起

署名連絡先
<https://pro.form-mailer.jp/fms/3b3fb08783339>

(要旨)
 福島原発事故により、今も十万人以上の人々が避難生活を余儀なくさせられている。七月三十一日の東京第五検察審議会の議決により東京電力役員に対する強制起訴が決定された。四月十四日、福井地裁は、高浜原発運転差し止め仮処分決定を下した。再稼働阻止について世論調査では六割近い国民が再稼働反対である。このような中で再稼働を決定した安倍首相始め当事者の責任は重大である。

特に川内原発ではカルデラ火山の噴火による原発の破局的被害について危惧される。しかし原子力規制委員会審査には火山学者は誰も招聘されず、事実誤認の「火砕流噴火」が起きるとしても事前に予知出来るので原発を止め、使用済み核燃料も安全な場所に移動出来ることとする判断を採用した。私達には司法の力で再稼働政策を中止させる。

再稼働に抗議し、司法の力で 原発停止を求める声明
 八月十二日
 脱原発弁護団全国連絡会

川内原発稼働するな！

8・9 現地集会

国民の大多数が原発再稼働に反対あるいは懐疑的であるのに、安倍首相は原発再稼働の方針をゴリ押ししています。川内原発の見える久見崎海岸に約二〇〇〇人が結集し反対の声を挙げました。その様子を伝えるU・Y・Tの動画から取材し記事をまとめました。(尚)

<https://www.youtube.com/watch?v=M3usNj5XJIA>



8・9 現地集会



基調スピーチ (要旨) 川内原発は老朽化し ボロボロだ！

この久見崎海岸から向こうに見える川内原発で、とてつもない悪巧みが為されています。

一つは川内原発は「老朽化しボロボロだ」と言うことです。昨年で三十年を経過したのに、法に基づく「経年検査」が端折られていました。この間、八月五日、規制委員会は大急ぎの「検査」を十分な議論もなく合格としてしまいました。

もう一つは九電は、住民の意見を無視する独善的な企業であると言うことです。九電は住民

川内原発1号機の再稼働を絶対に許さない 8・9鹿児島アピール (要旨)

4年5ヶ月前の福島第一原発事故の核汚染は東日本を蹂躪し、故郷を失った人々の苦しみは今も続いています。実効的な防災計画がないまま安倍晋三首相は「基準適合」を「安全」にすりかえ、再稼働を強行しようとしています。国民の60%は再稼働反対です。近接の10自治体が九電による住民説明会を要求する決議を上げ、市民と九電本店との交渉が持たれました。しかし九電は、時間切れを理由に交渉を一方的に打ち切り、警官隊を導入して私達を排除しました。説明責任も果たせない企業に原発を運転する資格はありません。川内原発には使用済み核燃料が888トンも溜まっており、過疎地に危険な原発を押し付ける歪んだ社会構造を示しています。私達は強く訴えます。

- ◇鹿児島にも日本にも地球にも原発はいらない。川内原発1号機を再稼働するな！ 廃炉にせよ！
- ◇全国全ての原発の、再稼働を許さない！ 再生可能な自然エネルギー社会に移行しよう！

川内原発再稼働阻止大集会
&ゲート前大行動参加者一同

説明会を拒否し、反対に政治家や官僚を抱き込み再稼働を画策してきました。私達は放射能の恐ろしさを知らない

無知蒙昧な民ではない。生命を守るために、権力の脅しに屈しない徹底した闘いを繰り広げようではありませんか。私達の闘いは憲法が保障する生存権をかけた闘いであり、民主主義を貫く闘いです。全国国民の何千万もの支援を受けて闘い抜きましょう

リレートーク 何故鎮魂の八月に 再稼働なのか？

さようなら原発

鎌田慧さん

原発が赤字では 利権が消える

川内原発差し止め

裁判原告森団長

川内原発で二五〇〇

八月は鎮魂の時。長崎に原発が落とされた今日、八月九日に、原発を再稼働しようとしている。こんなモラルに反した行為はない。しかし彼らにとって再稼働は、実はお金のためなのです。この会場を鹿児島県は貸さないと言った。原発の見えるこの海岸で生命を守るための集会在禁止されるのが原発社会です。不当な抑圧を跳ね返して行く闘いが始まりました。

住民説明会が一つも なされていません

稼働阻止地元市民運動

鳥原良子さん

川内原発再稼働について、九電に住民説明会を要求したが、一つも実現していない。海外では規制委員会による「原発

事故防護」と「住民の避難計画」が審査対象の常識です。1・2号機についてホームページに「白抜き黒枠」の資料がアップされている。地震時、制御棒の挿入が確実なのかさえ疑問です。

海岸には四〇のイベント ゲートでは怒りの座り込み

九日の二千人集会を前にして、前夜、久見崎海岸では「ウエル亀ロックフェスティバル」が開催され歌と音楽で原発阻止が語られました。

十日早朝から原発ゲート前抗議行動には四〇〇人が集まり、スピーチが続けられ、夜に入って座り込みに入りました。十一日早朝六時、市民の五台のマイク車がゲート正門前に入り、座り込みグループがチェーンを体に巻き付け連帯行動。当日作業員は川内港の原発専用船着き場から入構、十時三十分制御棒が引き抜かれ核分裂が始まった。ゲート前で、怒りのシュプレヒコールが湧き起こった。(再稼働阻止全国ネットワーク・ホームページ)